

会 議 録

会議の名称	令和3年度 第2回 深谷市総合教育会議	
開催日時	令和4年2月9日(水) 午後1時30分開会・午後2時40分閉会	
開催場所	深谷市役所 3階 大会議室	
議長氏名	小島市長	
出席者氏名	出席者名簿のとおり	
事務局出席者氏名	出席者名簿のとおり	
会議事項	<p>1. 議事</p> <p>&lt;協議事項&gt;</p> <p>(1) 教育施策大綱の策定について</p> <p>①次期教育施策大綱の策定形式について</p> <p>②次期教育施策大綱の基本理念、視点、基本目標について</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <p>(1) 学校スタッフの充実について</p> <p>①インクルーシブ支援員について</p> <p>②学力向上支援員について</p>	2. 会議結果承認
会議の経過 (議事の要旨)	別紙のとおり	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度第2回深谷市総合教育会議 次第</li> <li>・令和3年度第2回深谷市総合教育会議 構成員名簿</li> <li>・次期教育施策大綱の策定について(協議資料1)</li> <li>・深谷市教育施策大綱(参考資料1)</li> <li>・教育振興基本計画について(参考資料2)</li> <li>・関係法令(参考資料3)</li> <li>・教育振興基本計画基本方針(第1期、第2期)(参考資料4)</li> <li>・第2次深谷市総合計画 後期基本計画の策定について(参考資料5)</li> <li>・令和4年度インクルーシブ支援員について(報告資料1)</li> <li>・学力向上支援員について(報告資料2)</li> </ul>	
その他事項		
会 議 録 の 確 定		
確定年月日	議長署名	
令和4年 2月 25日	小島 進	

別紙

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容(要旨)・決定事項
	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 市長あいさつ</b></p> <p><b>3 教育長あいさつ</b></p> <p><b>4 議事</b>            ※深谷市総合教育会議運営要綱第4条第1項の規定により、市長を議長として議事を進行</p> <p>≪協議事項≫  <b>(1) 教育施策大綱の策定について</b>  <b>①次期教育施策大綱の策定形式について</b>  <b>②次期教育施策大綱の基本理念、視点、基本目標について</b></p> <p>(事務局から説明)</p> <p>議長            それでは、次期教育施策大綱の策定について、協議を行いたいと思います。            まず、①次期教育施策大綱の策定形式について、ご意見をいただければと思います。</p> <p>委員            深谷市はこれまで大綱を教育振興基本計画と一体的に策定してきたが、その理由はなにか。</p> <p>事務局          市長部局と教育委員会が同じ方向を向いて教育行政を行うため、大綱と教育振興基本計画を一体的に策定してきた。            次期大綱においても、市長部局と教育委員会が連携して教育行政を行っていくため、同様の策定形式としていきたい。</p> <p>委員            他の自治体と比べても、深谷市の教育行政は素晴らしいと感じる。これまでの策定形式に問題がないのであれば、次期大綱についても、同じでよいと思う。</p> <p>議長            深谷市は渋沢栄一翁を中心に置き、市長部局と教育委員会が連携して教育行政を行ってきた。これは深谷市の特色であり、強みでもある。今後も引き続き連携を密にし、教育行政の推進を図っていきたい。</p> <p>議長            次期教育施策大綱の策定形式については、現行の大綱と同様に、大綱を教育振興基本計画と一体的に策定することでよろしいでしょう</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ( 要 旨 ) ・ 決 定 事 項
	か。
議長	<p style="text-align: center;"><b>【全員了承】</b></p> <p>皆様に了承いただきましたので、そのようにさせていただきます。      続いて、②次期教育施策大綱の基本理念、視点、基本目標について、ご意見をいただければと思います。      基本理念については、事務局から、栄一翁の生涯を貫いた精神を基にした、深谷市が目指す教育の姿であり、深谷市の教育振興を図るうえで切り離せない普遍的な概念であるため、次期の教育施策大綱においても、その理念を継承するという提案がありました。      このことについて、ご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>栄一翁は「立志と忠恕」の他にも「至誠」という言葉を大切にしていた。これは、誠実や真面目という意味であり、子どもたちが社会に出てから大事になる部分である。こちらについても、基本理念に入れてみたらどうか。</p>
教育長	<p>「至誠」はまごころといった意味でもあり、教育の目的である子どもたちの人格形成には大切な理念である。      これまで深谷市では、そういったまごころについて、基本理念である「立志と忠恕」に包含されるものとして捉え、教育行政を行ってきた。</p>
委員	<p>各小中学校では、基本理念のもと、学校ごとにスローガンを掲げている。そのため、基本理念については、あまり細かすぎるものではなく、包括的なものが望ましい。</p>
委員	<p>現在の基本理念「立志と忠恕の深谷教育」はわかりやすいため、次期大綱においても継承していくことで良いと思う。      基本理念のもと、地域が一体となり、郷土愛の醸成を図ってもらいたい。</p>
議長	<p>次期教育施策大綱の基本理念については、「立志と忠恕の深谷教育～ふるさとを愛し、夢をもち志高く生きる～」を継承することによってよろしいでしょうか。</p>
議長	<p style="text-align: center;"><b>【全員了承】</b></p> <p>皆様に了承いただきましたので、そのようにさせていただきます。      続いて、次期大綱の視点、基本目標について、SDG s や I C T の進展、新型コロナウイルスなどの現在の社会状況や、教育上の課題を踏まえ、ご意見をいただければと思います。</p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ( 要 旨 ) ・ 決 定 事 項
委員	<p>人口減少や少子高齢化は今後ますます進行していくものと考えられる。これらの課題に対応した視点、基本目標とするべき。</p>
委員	<p>少子化が進行する中、子どもたちの歓声や賑やかさが街中にあることで、まちの活性化につながっていくと思う。 子育て世帯を深谷に呼び込んでいくため、子育てや教育に関する深谷の魅力を広く発信していくべき。</p>
議長	<p>今年の秋にふかや花園プレミアム・アウトレットが開業し、市外のかたに深谷の魅力をPRするチャンスとなる。 自校式給食や栄一翁教育など、深谷ならではの教育について、市長部局と教育委員会が連携して発信していきたい。 また、深谷の教育に関して、市外の人を呼び込むためのキャッチフレーズがあると良い。</p>
委員	<p>現在、深谷市では公民館を地域の核として様々な活動が行われている。今後も家庭、地域、学校が連携し、将来地域を担う子どもたちを地域で育てていければ良い。</p>
委員	<p>新型コロナウイルスの影響により、オンライン授業を実施するなど、教育環境が変わりつつある。この経験が無駄にせず、環境の変化に柔軟に対応できる子どもたちを育ててもらいたい。</p>
教育長	<p>現在の子どもたちは新型コロナウイルスという未曾有の経験の中にある。価値観や生活様式が変化していく中、多様性や思いやり、郷土愛を持った子どもたちを育てていくことが大切だと考える。 また、本市出身のパラリンピックで活躍した村岡桃佳選手や中日ドラゴンズの清水達也選手のように目標を持ち、それに向かって努力できる子どもたちを育てていきたい。</p>
議長	<p>ICTの進展により、全国の自治体とオンラインでつながれる時代となった。栄一翁や畠山重忠公ゆかりの自治体、小中学校と交流するなどし、積極的に深谷のPRを行っていきたい。</p>
議長	<p>次期大綱の視点、基本目標については、本日委員の皆様からいただいた意見を踏まえ、策定にあたってください。</p> <p><b>《報告事項》</b>  <b>(1) 学校スタッフの充実について</b>  <b>① インクルーシブ支援員について</b>  <b>② 学力向上支援員について</b></p>

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ( 要 旨 ) ・ 決 定 事 項
	<p style="text-align: center;">(事務局から説明)</p> <p>議長      事務局からの説明について、ご意見、ご質問などがあればお願いします。</p> <p>委員      インクルーシブ支援員については、障害のある児童生徒の保護者からすると、このような支援があると大変助かると思う。 児童生徒の学力向上については、基本は教科書に沿って積み重ねることが重要であると思う。</p> <p>委員      学力向上支援員の配置については、学校側としてもありがたいと思う。児童生徒の学力向上には、授業の内容など、教員の質の向上も必要である。現在、授業の研究会などを行っているが、今後も校長会や教育委員会と連携して教員の育成を図っていくことが重要である。</p> <p>委員      インクルーシブ支援員はどのような人を採用するのか。また、資格は必要か。</p> <p>事務局      資格は不要である。教員のOBもおおり、幅広く採用している。</p> <p>教育長      児童生徒の学力向上には、教員の熱意と校長のリーダーシップが大切である。 また、参考として、学力が全国トップクラスの福井県は、共働き世帯率や女性の就業率、三世代同居率、スポーツ少年団・子ども会加入率も全国トップクラスであり、地域の豊かなネットワークの中で子どもを育てる風土が残っている。</p> <p>議長      子どもの学力向上のため、市が一体となって取り組んでまいりたい。</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p style="text-align: right;">以上</p>